

昔教者ルーテル

No. 9

フリードリヒ登場

登場人物ルーター 第九回 フリードリッヒ登場



お、フリードリッヒでう
マサー、ルイオアニス
23歳です

フリードリッヒ、なめで
どうも、キャラクター
デザインが、変わって
しまっ、て、いい
感、入、り、ま、す



私は
大学を卒業し
神父のはしくみとして
ルーター先生のお手伝い
もさせてもらって
います

フィリップ
= マラクトン 24歳

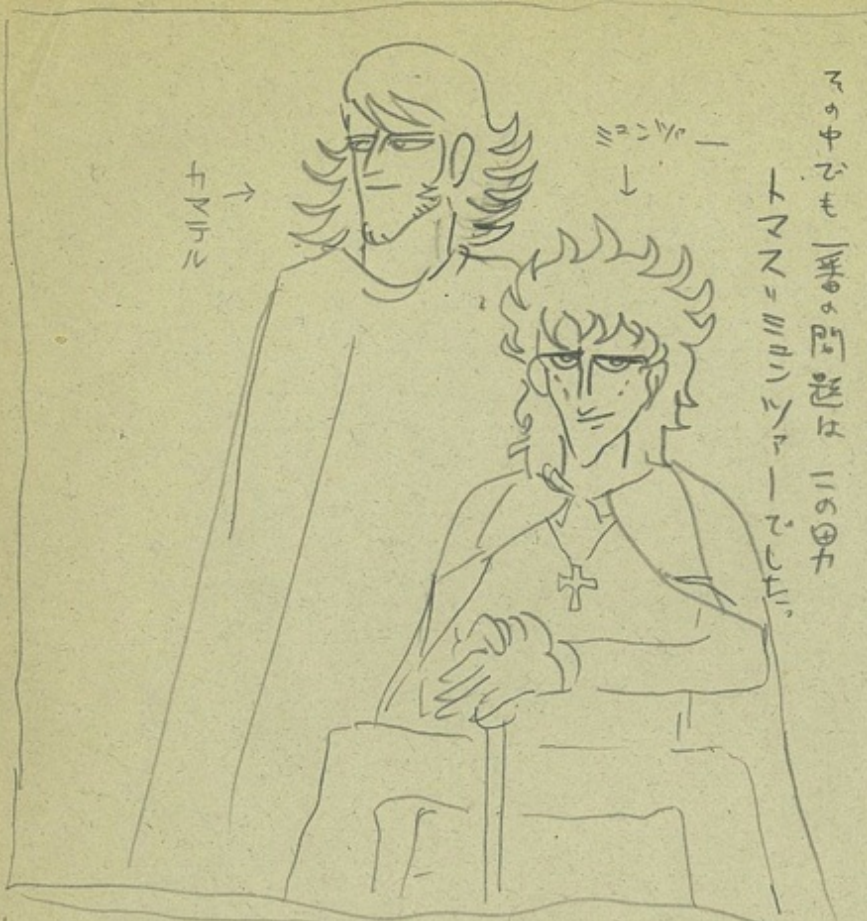
マルティン
= ルーテル 38歳

各地に多くの支持者がいて、ルター派
の(新教といわれはじめていました)マウ
した教会も、ふんづつありました。
しかし、ルーター先生は、カトリックとの
正面からの対決は、さけてつづけま
した。



ルーター先生の活動は、ある意味
非常に地道なものでした。
カトリックの支配からはなれ、
また、キリスト教会をつくるこ
ともは、はじめたのです。
プロテスタント教会も、理想の
教会とするため、いろいろな
改革をなしました。

ルーテル先生への
指し示すこの福音
主義者の団体は、実に多くの
問題をかかえていました。
考えていることが各人バラバラ
なのです。



マウツでも一筆の問題はこのカ
トマス・ミンツァーでした。



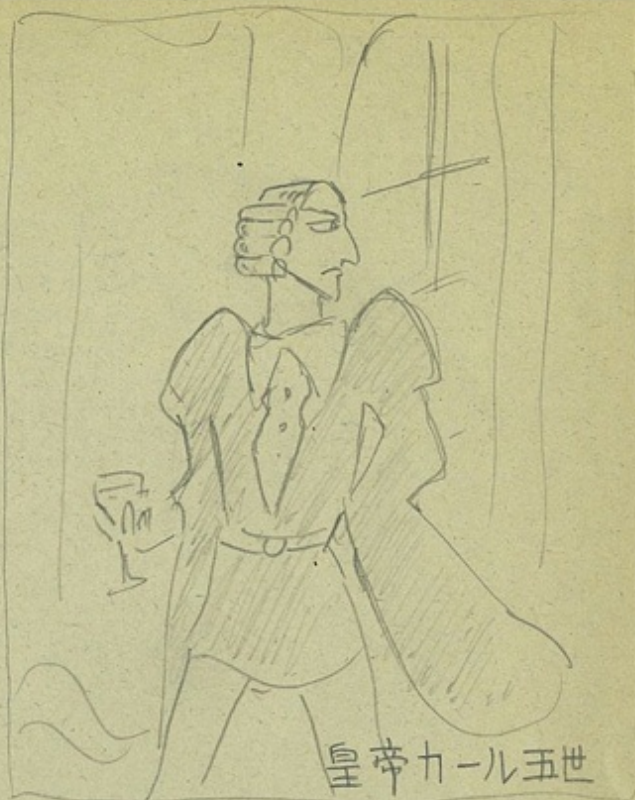
カメルンはルーテル先生のもとを
はなれ、ミンツァーは
カメルンが、ルーテル先生のもとを
はなれ、ミンツァーは

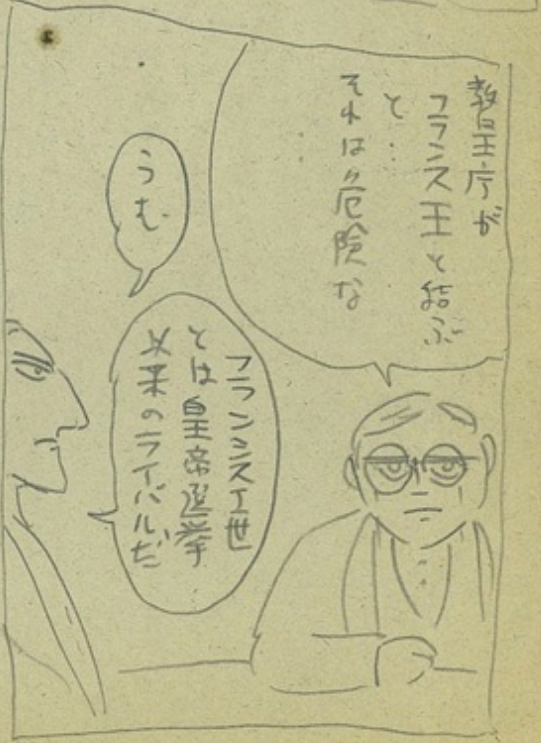
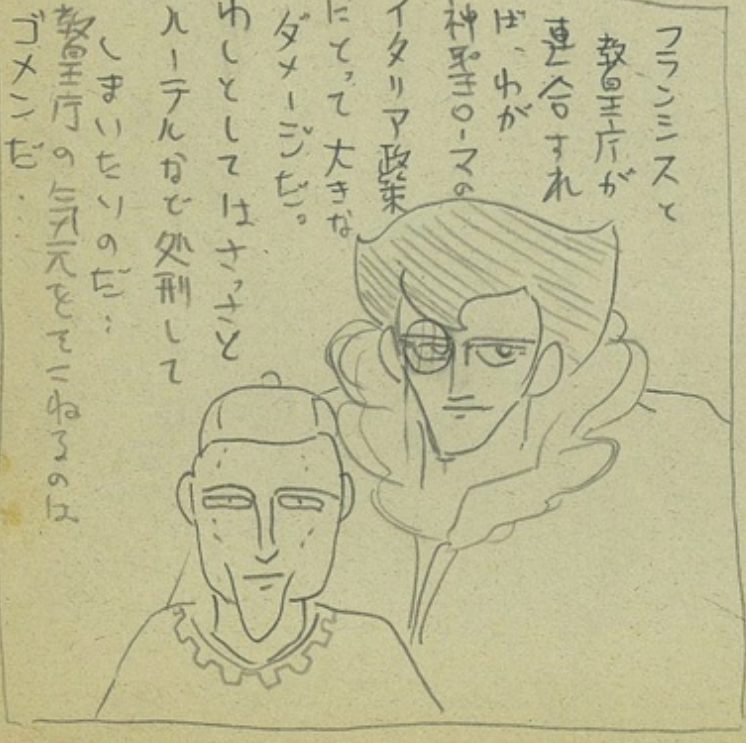
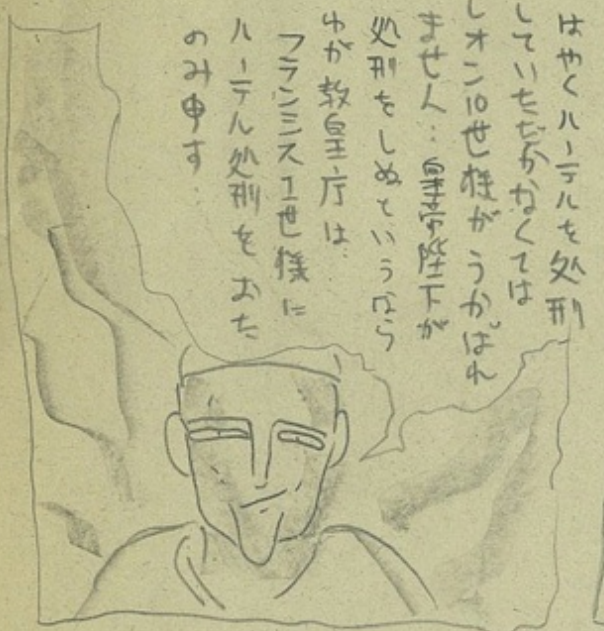


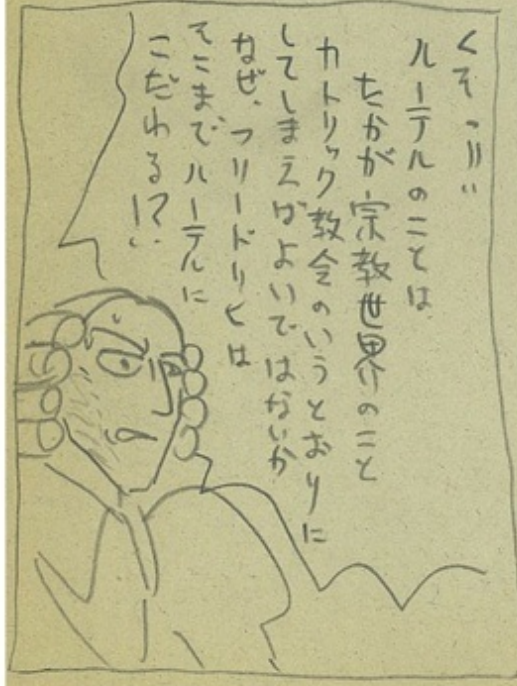
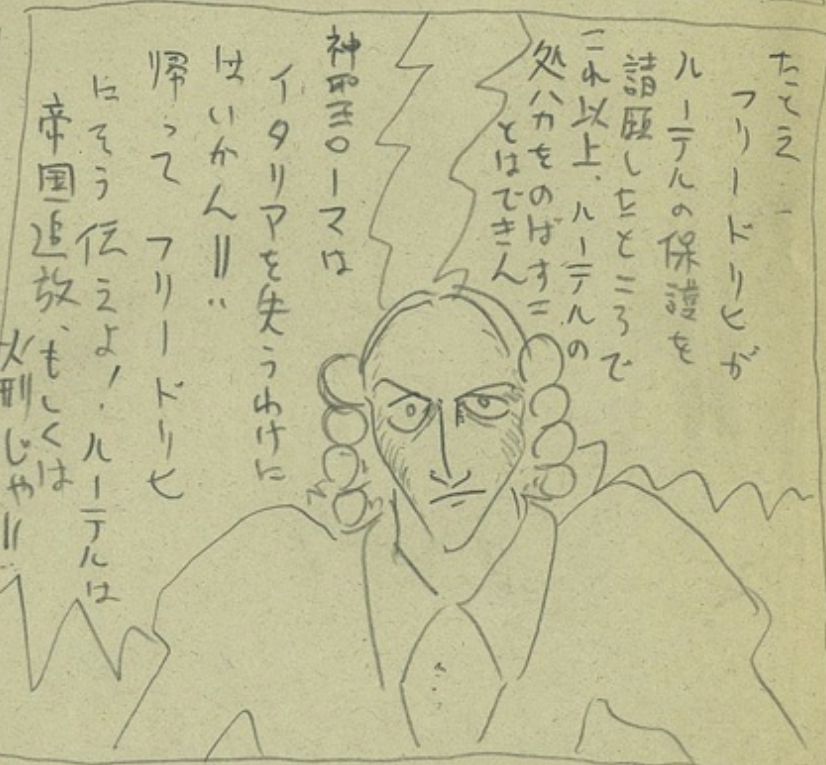
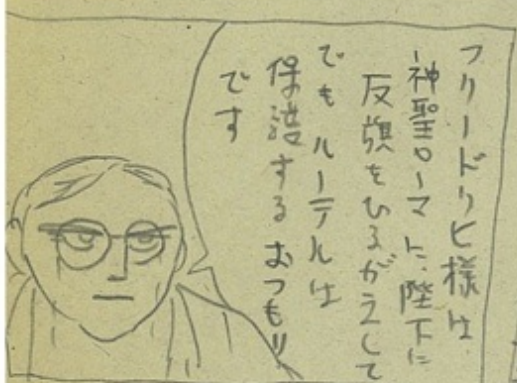
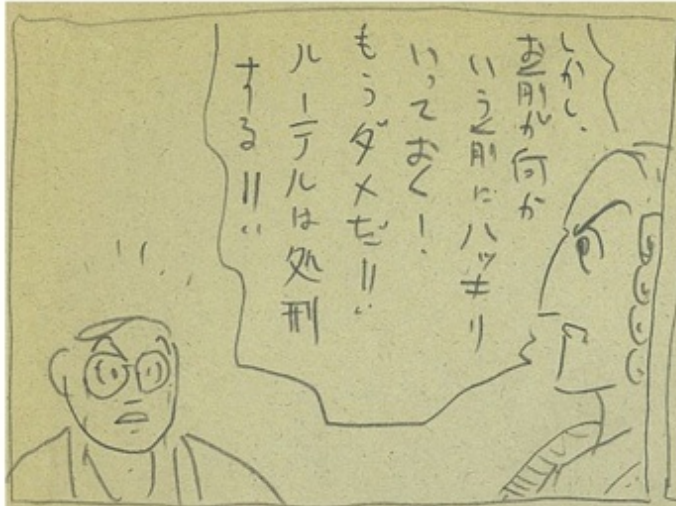
このカメルンが、聖書のまことの定するところ
明らかに福音主義者ではないのに、
ヴァッテンベルクにたとえていきました。
武力をもってカトリックを倒すという
彼の考えは、ルーテル先生の地道な
改宗より
ハテとアリ、
多くの支持
もつけつつ
あるのです。



・ウーテン







と行って

フリードリヒ様は

それほど話のゆからぬ方

ではありません

道理のゆからぬ方とごまか

います

陛下のお立場をよく

わかってまいります



それで私は

一つの妥協案を

もってきこいのでした

教皇庁もフリードリヒ様

も納得とする妙案を

ひらきませんか

陛下

一五三一年

三月六日

ヴェーテムベルク



ガヤガヤ

どうして

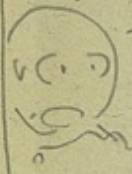
フ

な

ア

ア

ア



ルートル先生

にカール五世陛下

よりの召喚状

がきたのです



刀鳴大杖の内容とは

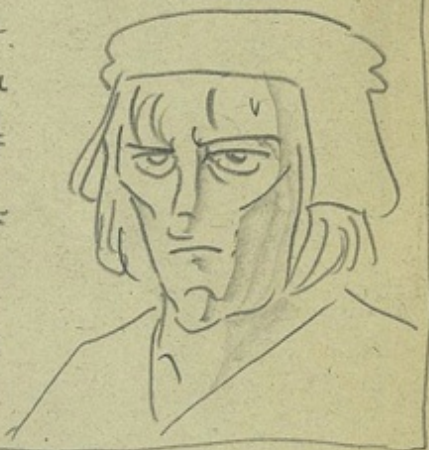
帝国議会において、ルーテンも再審の目
し、ドイツの慣行にしたがって処分カを
子めよため、帝国議会の開催地
ヴォルムスへ出夏せよとの
ものだった。

二叶がすなわち

ヤクニタイラン伯のそと協定本である。
ルーテンの処分カを、教皇王庁から
下すれを刑罰でなく、帝国議会
での再審の目のもち、正しく法に
したがって決まるというものである。



しかし、ルーテンがフス同様
火刑となる可能性は
ちよへん大まかだ。



まさか
行くつもり
いかな
でしようわ
っ、



まったく
死に行く
ようねも
ですよ

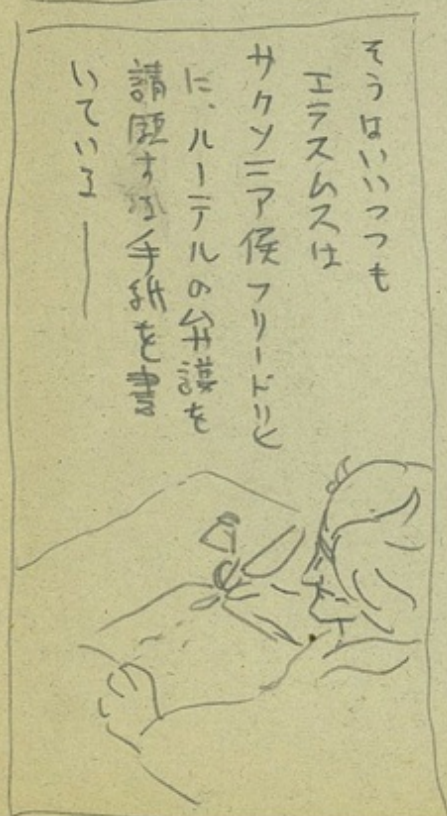


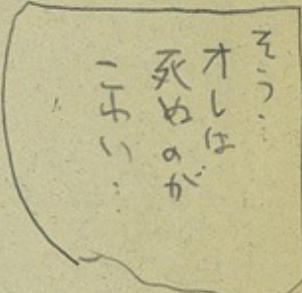
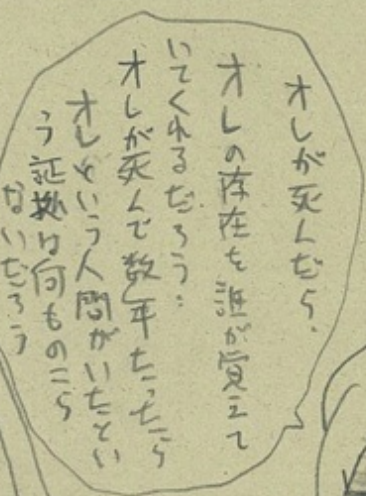
いや、私は行く
たてえ、死がまっさいようと、
私は聖カカによってとめられ
るか、白王帝が刀の喉を
取り消すかしないかきり

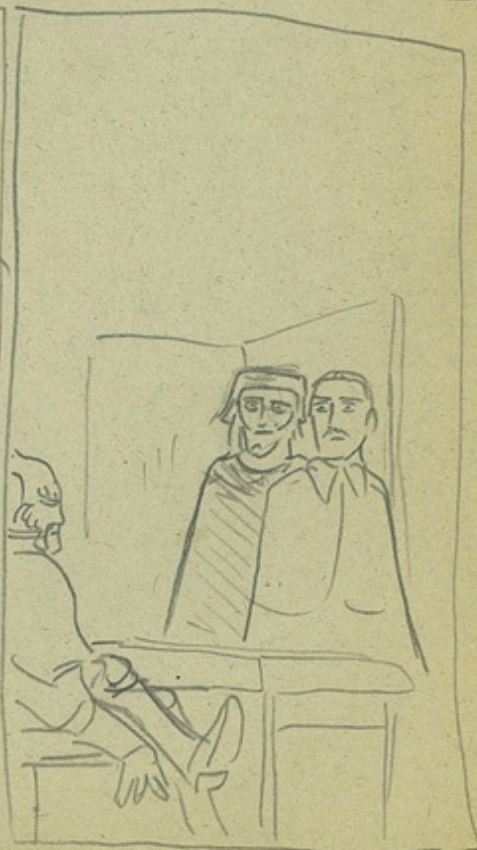
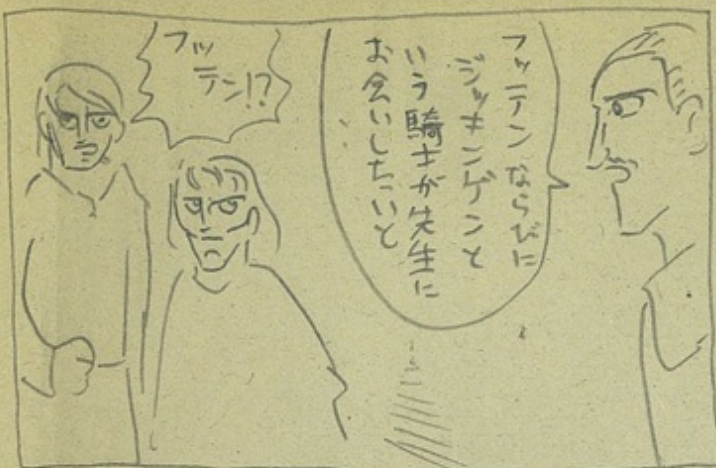


キリストの
みこころのまま
ヴォルムスへ
行く！！

エラスムス51歳





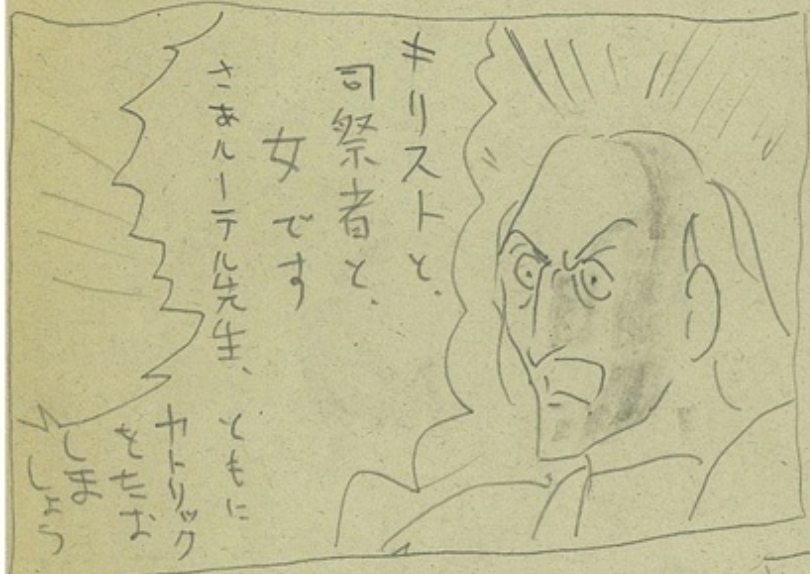




かんでも
ヴォルムスへ
行かぬとが
キケニですぞ

はこ
キケニは
しんじつです

あゆめれも
ローマ教会の腐敗は
心を悩ましておりました
カムとがドイツとローマの
支配から解放したいと
考へておられるのです
私は、それを先生に賭け
るつもりなつたのです

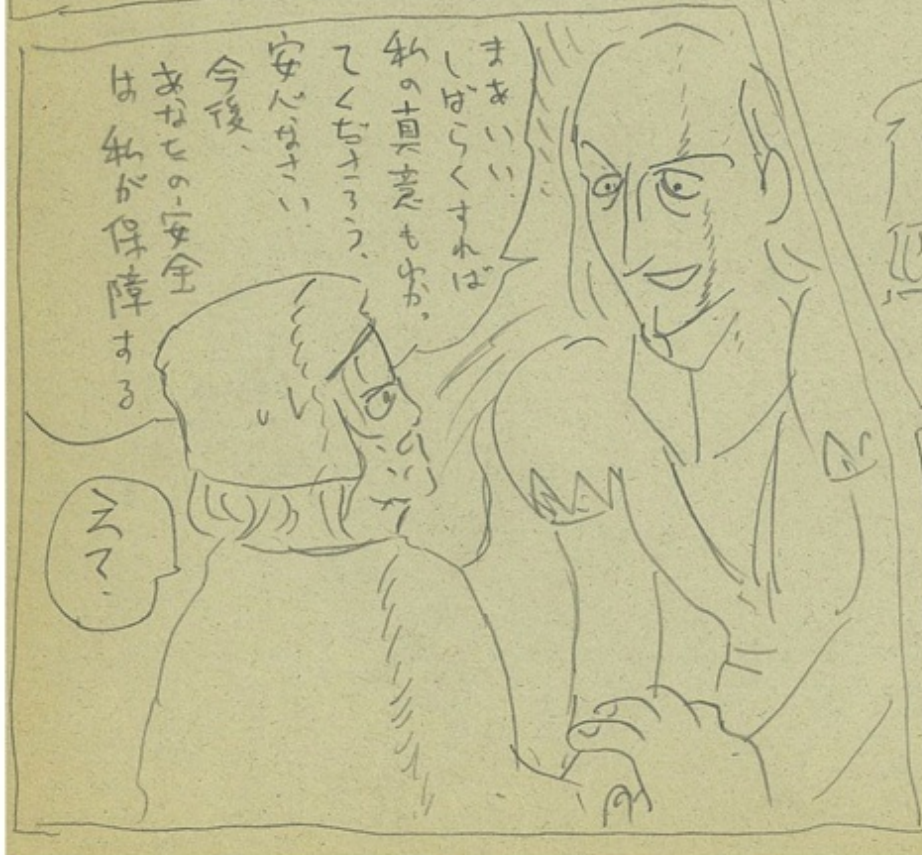


キリストと
司祭者と
女です

さあルーテル先生、ともに
カトリック
をたぶら
しませう



先生
ローマは
三つのものが
またわかれていま...



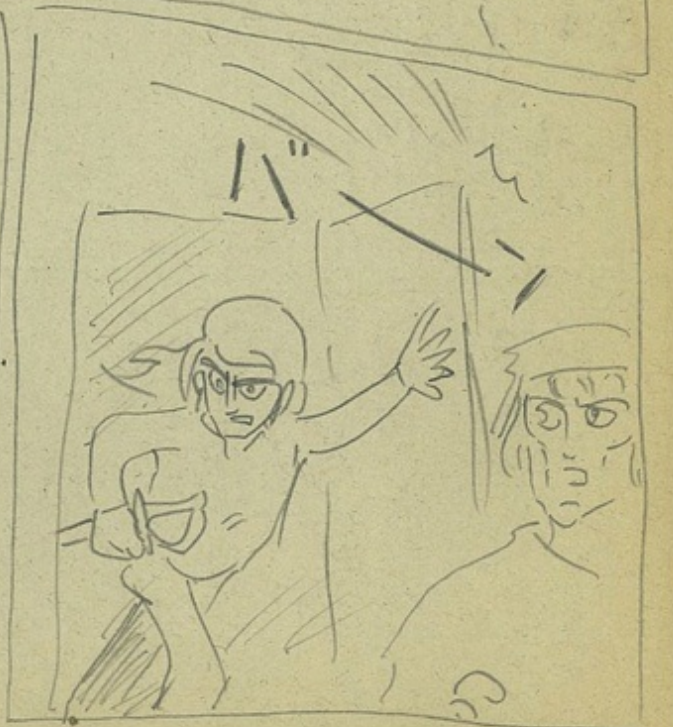
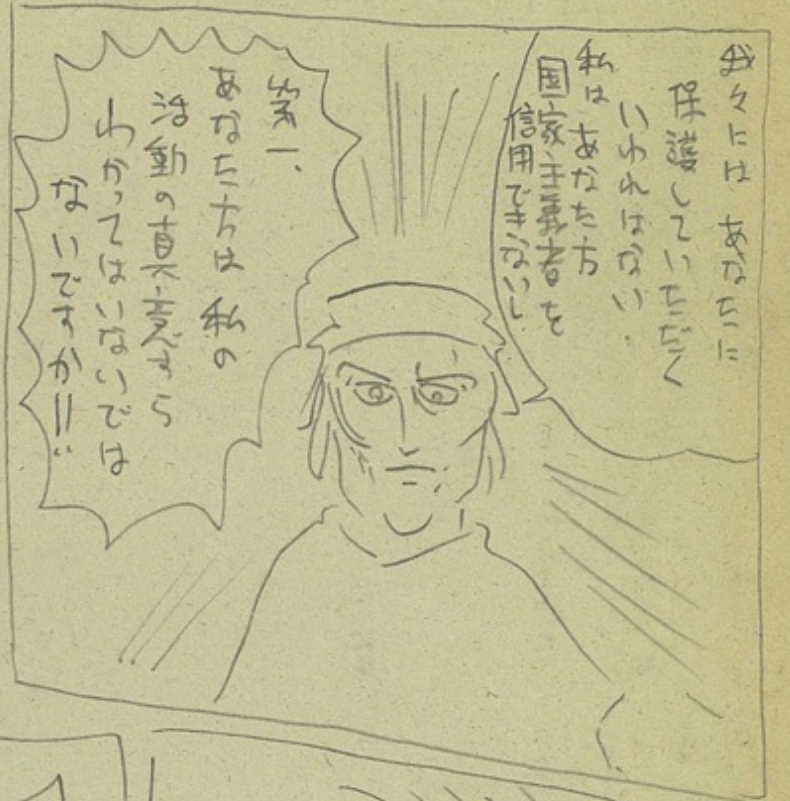
まあいい
しばらくすれば
私の真意もわか
てくちやうう
安心なさい
今後
あなたへの安全
は私が保障する

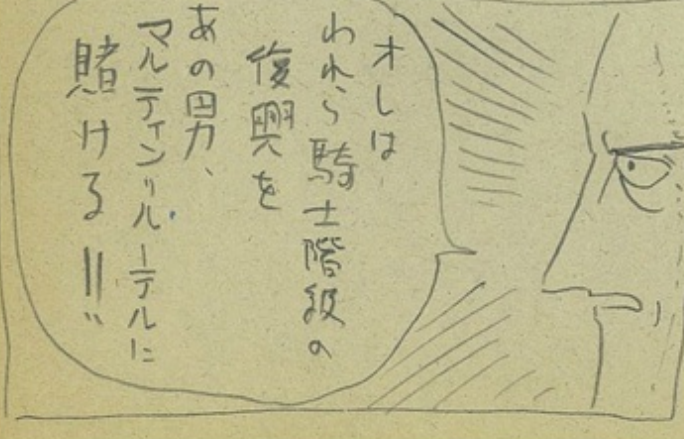
エマ



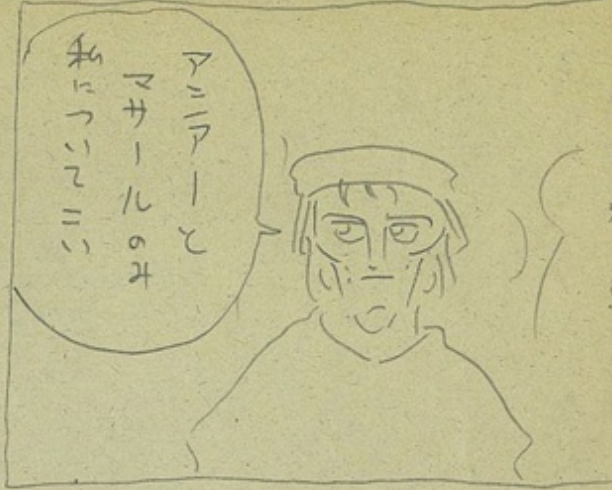
どうも、あなたは
私の活動も
かんちがいなめて
いるようだが...







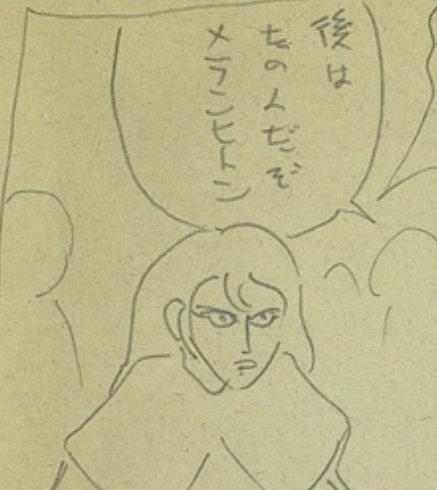
そして出発の朝



アミアアと
マサールが
私にこの二



しかし



後は
その人でも
メラ(ヒート)

今度はこそ
私は生きて
もどらんか
しん



そのときは
大まな
この福者の王様
もはってくれ

ミニツアも
むが
私はカーンニタット
とガブリエルの
ことも心配だ
一騒動あるかも
しん



はい

先生
フッテンさん
にちが
来てますが



こうして
ルーテルは
アミアア
マサールと
ともに
フッテン
ジャキデンス
百人の
騎士団に
護られて
ウォルムスへ
向った



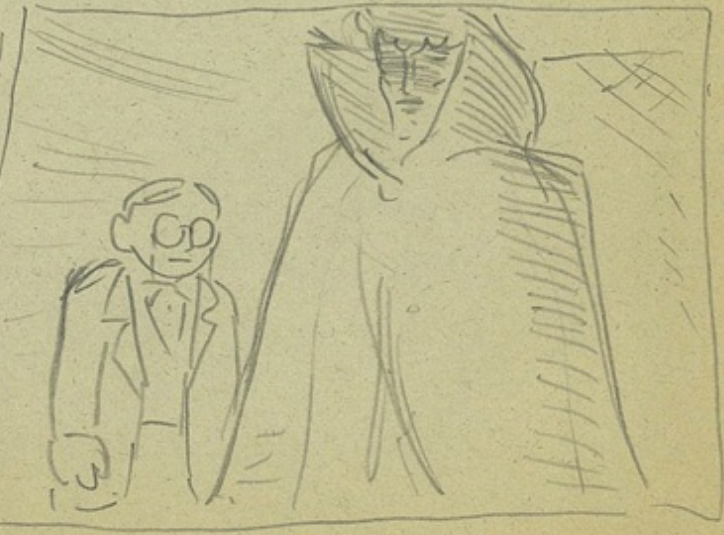
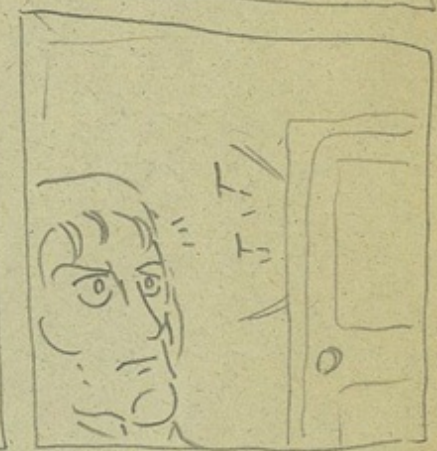
おきに
ササメの
オロホ



ルーテルら一行は
四月十六日ヴォルムスへ
到着した。
そして四月十七日、
帝国議会への上野を
命ぜられた。

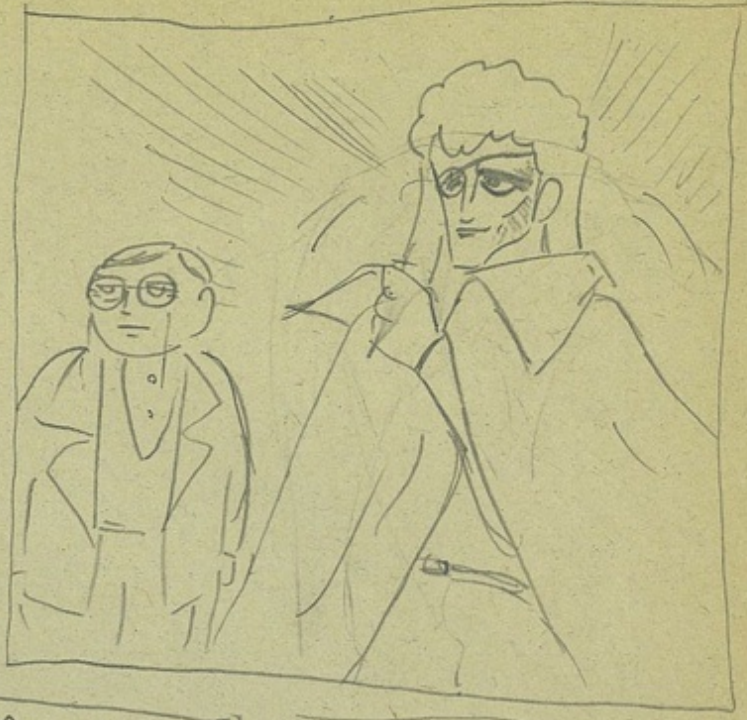


この帝国議会は
カール五世にとって
はじめての議会であり
皇帝のメンツにかけて
ルーテルに自説をとり
清させねばならなかった。
このカールはわずか
26歳だったのである。





あなた、
ですか



こちらは
サクソニア選帝侯
フリードリヒ様
ですよ

突然おどかして
ゆるかったな
しかし護衛が
はいると別
会ってくんな



本当は勝手と
ヤクザと合って
いかん、キマリなんぢが
「コッマリ」やってきて
しまっこの「コッ

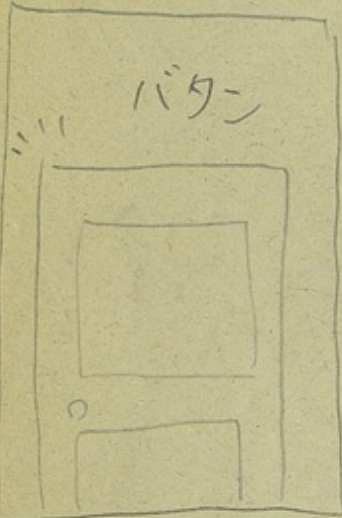




しばらく
入ーテんとスエ
語もし...

そちら
床も
外せ

はい



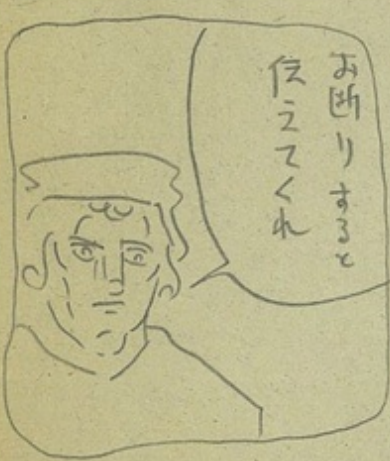
ボタン



はい



タイラン
ぶっ刺もぢ



お断りすると
伝えてくれ



フリードリヒ様
からの手紙を
宗教改革の
のしりもまだ
てくれと



フリードリヒ
かな



フリードリヒとは
いったいどのような



そして
誰よりも早く
宗教改革をとがえた
貴族、入ーテル先生を
かばいつづけた人物

神聖ローマ
七選帝侯中最も
有力なる人物

賢明俊
とまむ名
なる男



No.9 フリードリヒ登場 [完]

「背教者ルーテル」 vol.9 フリードリヒ登場

<http://p.booklog.jp/book/32113>

著者：獣田由狼

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kemonoda/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/32113>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/32113>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.